

## I.プログラムの名称

「福岡大学病院 研修プログラム 2021」

臨床検査部 初期研修

## II.目的と特徴

卒後臨床研修医を対象に、的確な臨床検査診断学の習得を目標とし、疾病全般を対象に、検査項目の選択、測定、結果の解釈などを一貫して経験することにより、これらを統合して臨床診断に応用できる能力を涵養する。

当診療部は、検体検査部門と生体検査部門により構成され、それぞれを専門医が統括して検査診断を実施している。種々の検査法について基本的事項を修得・習熟し、検査精度管理などの業務を修得することにより、検査の質に対する認識を養う。

## III.プログラム指導者と参加施設の概要

- (1) プログラム指導者:福岡大学病院 臨床検査部 診療部長・教授 小川 正浩
- (2) 基 幹 施 設:福岡大学病院 臨床検査部
- (3) 参加、協力施設とその規模の概要:福岡大学病院 (病床数 915)

## IV.プログラムの管理運営

研修プログラムに沿って、上記プログラム指導者により管理される。長期病欠などの運用上の不都合が生じた場合は、プログラム指導者と指導医により対応する。

## V.定員および選考方法

定 員:2名

福岡大学病院の規定に従う。

## VI.到達目標

- (1) 臨床検査医学、病態検査医学、臨床疫学などに関する幅広い知識を習得する。
- (2) 基本的な検査技術を身につけ、診断、治療および予後判定に応用することができる。
- (3) 心エコー、血管エコーの基本的手技を習得する。
- (4) 病因、病態診断のために生理検査、検体検査や遺伝子検査などを適切に選択し、結果の判定を行うことができる。
- (5) CPC、reversed CPC などへの参加を通じ、臨床検査診断学に習熟する。
- (6) 臨床検査医学の実践を通して適切な検査オーダーを行うことができるとともに、医療経済の観念を獲得する。

## VII.実務研修の方略

厚生労働省の卒後臨床研修制度における到達目標に準じ、以下の検査項目について、自ら実施し、結果を解釈できるように、血液・一般検査室、生化学検査室、細菌検査室、生理検査室、緊急検査室(輸血検査を含む)をローテーションしながら研修を行う。また、希望により幾つかの領域に特化した研修を行うことも可能である。

本部独自の研修として、検査相談室におけるコンサルテーションの実践、遺伝子検査の習得があげられる。

- (1)一般尿検査(尿沈渣顕微鏡検査を含む)の実施と判定
- (2)便検査(潜血、虫卵)の実施と判定
- (3)血算・白血球分類の実施と判定
- (4)血液型判定・交差適合試験の実施と判定
- (5)心電図(12誘導)、負荷心電図の実施と判定
- (6)動脈血ガス分析の実施と判定
- (7)血液生化学検査の項目の実施と判定
- (8)免疫血清学的検査(免疫細胞検査、アレルギー検査を含む)の実施と判定
- (9)細菌学的検査・薬剤感受性検査、検体の採取(痰、尿、血液など)および簡単な細菌学的検査(グラム染色など)の実施と判定
- (10)呼吸機能検査の実施と判定
- (11)髄液検査の実施と判定
- (12)心臓・血管エコーの実施と判定
- (13)神経生理学的検査(脳波、筋電図、神経伝導速度など)の実施と判定
- (14)採血法に習熟する。
- (15)検査相談室のコンサルテーションに対応し、病態検査学についての知識を深める。
- (16)遺伝子検査についての基礎知識を学び、実施する。
- (17)検査部主催の勉強会、CPC に出席して研鑽する。
- (18)興味ある事例について学会等で発表する。

## VIII.研修内容と診療体制

各研修指導医の下で、臨床検査の各部門において、到達目標に基づき、研修する。固有病床がないため、診療に従事する場合は希望する診療科と兼務する形で、専門分野の臨床研修が可能である。

### (1)勤務時間

月～金曜日、午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分までとする。

臨床検査関連の当直はなし。

### (2)教育に関する行事

毎週木曜日夕方 臨床検査部 ISO コア会議・品質マネジメント会議、臨床検討報告会

毎週水曜日午後 抄読会および研究報告会

毎週金曜日午後 R-CPC

月に 1 回木曜日夕方 臨床検査部研究会

### (3)指導体制

研修医 2 名に対し、各専門分野のスタッフが 1 名、直接指導に当たる。

## IX.当科の医療安全等に係る研修医教育

月曜日の午後 4 時から 40 分程度

- (1)チーム医療としての検査部診療体制の概要と各診療科との連携
- (2)検体検査部門およびコンサルテーションにおける各科との連携と注意点
- (3)生理検査部門およびコンサルテーションにおける各科との連携と注意点
- (4)緊急検査、パニック値、インシデントに対する対応
- (5)治験、院内感染対策、遺伝子医療の注意点と対応

## X.到達目標の達成度評価

研修開始にあたり、各分野における到達目標を提示し、ローテーション終了時に、医師及び主任検査技師が、研修医評価票 I, II, III を用いて評価し、評価票は研修管理委員会で保管する。指導医は研修医評価票を点検し、フィードバックにより研修医の到達目標達成を援助する。

## XI.プログラム修了の認定

研修医評価票 I, II, III を勘案して、作成される「臨床研修の目標の達成度判定票」を用いて評価、認定する。

## XII.資料請求先

福岡大学病院 臨床検査部 診療部長 小川 正浩

〒814-0180 福岡市城南区七隈 7 丁目 45 番 1 号

## XIII.指導医一覧および所属学会、取得可能な認定医・専門医

### (1)当部指導医および所属学会

小川 正浩 医博、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本循環器学会循環器専門医、日本不整脈心電学会不整脈専門医、日本臨床検査医学会臨床検査管理医

大久保 久美子 医博、日本内科学会認定内科医、日本臨床検査医学会臨床検査専門医・臨床検査管理医、臨床遺伝専門医

高田 耕平 医博、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本動脈硬化学会専門医・指導医

松永 彰 医博、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本臨床検査医学会臨床検査専門医・臨床検査管理医、日本循環器学会循環器専門医、日本動脈硬化学会動脈硬化専門医

### 【その他所属学会】

日本臨床化学会、日本医療検査科学会、日本臨床微生物学会、日本糖尿病学会、

日本内分泌学会、日本心エコー図学会、日本肥満学会、日本病態栄養学会、

日本人類遺伝学会、日本遺伝子診療学会、日本小児内分泌学会

(2)将来取得可能な資格

日本臨床検査医学会認定 臨床検査専門医 臨床検査管理医